

これからのまちのこと
みんなでいっしょに
考えて、進めて
いきましょう！

富士浅間神社の桜

すばしり まちづくり ニュース

第2号

発行／平成27年4月15日

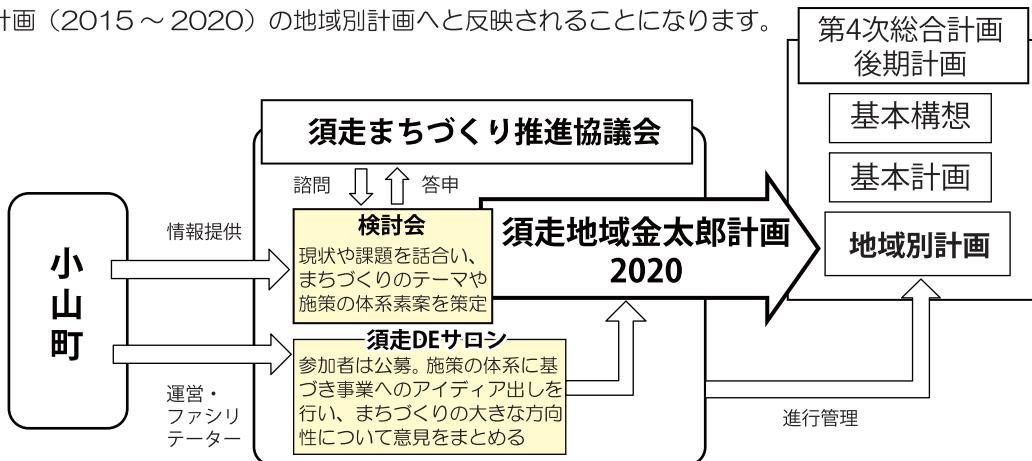
●須走まちづくり推進協議会

「須走地域金太郎計画2020」が
3月12日(木)須走まちづくり推進協議会総会にて
承認され、町長に報告しました。



須走地域金太郎計画2020 策定の進め方・策定体制

この計画の策定は、外部の専門家や住民、町関係者が参加する検討会を、平成25年度3回、平成26年度3回の計6回開催し、進めてきました。検討会では、須走DEサロンでのまちづくりワークショップや文化祭のアンケートなどのご意見を踏まえながら、「将来像」「目標」「事業・プロジェクト」の取りまとめを行ってきました。この計画は、小山町第4次総合計画後期計画（2015～2020）の地域別計画へと反映されることになります。



須走まちづくり推進協議会とは

須走まちづくり推進協議会は、平成25年11月設立しました。須走地域の住民が一体となって、魅力ある住みよいまちの実現に向けて取り組むため、小山町との連携のもと、協働のまちづくり実現のための事業並びに須走地域金太郎計画2020(※)の策定及び進行管理を目的としています。

(※)須走地域金太郎計画2020

第4次小山町総合計画(2011～2020)の後期計画2015～2020における地域別計画
【メンバー】

須走地区区長会長、須走地区区長会副会長、須走地区区長会会計、
緑ヶ丘区長、東原区長、雲雀ヶ丘区長、
小山町観光協会会長、小山町商工会会長、富士浅間神社宮司、富士浅間神社氏子会長
富士浅間神社氏子青年会長、一般社団法人須走彰徳山林会理事長
陸上自衛隊富士学校 総務課長、沼津信用金庫須走支店長
御殿場農業協同組合須走支店長、民生委員須走地区長
交通指導員須走地区理事、地域安全推進員須走代表
小山町消防団第7分団長、須走体育振興会会長、須走飲食同業組合長
須走旅館組合長、須走商店会会長、須走社交環境同業組合長
わいわい会議代表、老人クラブときわ会会長
須走青葉会会长、須走婦人会長、須走青年の会会长
須走小学校PTA会長、須走中学校PTA会長
須走地区子供会育成会連合会長、日本中央開発株式会社
道の駅すばしり駅長、須走温泉天恵支配人、富士山須走口山内組合長

すばしり・この一年

須走地域・まちづくり推進協議会の
一年を伝える

平成 26 年

4月 29 日(火)伊奈神社祭典

5月 5日(月) 富士浅間神社例大祭



23 日(金) ツアー オブ ジャパン



27 日(火) 藤原光親卿慰靈祭

6月 上旬 春季環境美化運動

26 日(金) 富士山クライム



4日(金) 第1回 総会

10日(木) 富士山開山式 ～9月 10日(水)



上旬 富士学校開校記念式典

8月

2日(土) 須走地区夏祭り



4日(月) 第1回検討会

下旬 富士山一斎清掃

31日(日) 富士山閉山式

9月

6日(土) 須走地区民体育大会



8日(月) 大日堂(野中神社) 祭典

9日(水) 須走 DE サロン「子育て」

14日(月) 須走 DE サロン「子育て」



下旬 護国神社秋分祭

30日(火) 第2回 検討会

10月

8日(水) 第2回 総会



下旬 秋季環境美化運動

11月

- 1日(土)・2日(日) 須走地区文化祭連動事業
 ・プラネタリウム体験
 ・陸上自衛隊ストリートフラッグ掲出
 ・まちづくりブース出店

皆さんに大好評!
手づくりキノコ汁



- 2日(日) 須走地区文化際



- 8日(日) 富士浅間神社紅葉祭り



- 21日(金) NO.1「不二山カフェ」
ベビーマッサージ体験

- 26日(水) NO.2「不二山カフェ」
盲導犬活動紹介



12月

- 7日(日) 須走地区防災訓練



- 12日(金) NO.3「不二山カフェ」
富士浅間神社紹介と参拝方法体験

- 13日(土) NO.4「不二山カフェ」
おさがり会

- 15日(月) NO.5「不二山カフェ」
幼児英語体験 (0-2歳の英語教室)

- 17日(水) NO.6「不二山カフェ」
住民主催のフリーマーケット

- 24日(水) NO.7「不二山カフェ」
幼児英語体験 (3-6歳の英語教室)

平成27年

1月

- 16日(金) NO.8「不二山カフェ」
アロママッサージ体験

- 23日(金) NO.9「不二山カフェ」
親子ふれあい遊び (バルーン)

- 29日(木) 国道138号景観形成 WS



2月

- 9日(月) NO.11「不二山カフェ」
幼児英語体験 (0-3歳の英語教室)

- 20日(金) NO.12「不二山カフェ」
アロママッサージとコンディショニング

- 25日(水) 第3回検討会

3月

- 4日(水) 国道138号景観形成 WS

- 12日(木) 第3回 総会

- 19日(木) 須走地域金太郎計画 2020 報告

まちづくりの目標と体系●須走地域金太郎計画 2020

将来像

目 標

す・ば・う・し・き

須走

富士山にいだかれ、
恵みを大切にした豊かなふれあいが、人を輝かせるまち

住むことが
楽しい

場の力で
観光・交流

来訪しやすさ
向上

仕組みを
整える

協働で
進める

- “住みたい”
気持ちを抱けるまち
・須走暮らしの魅力体験、発信
・富士学校関係者の定住促進

- “住み続けたい”
気持ちが育つまち
・魅力的な生活拠点の形成
・地域ぐるみで子育ち支援
・健康・医療サービスの利便性向上
・幼保小中（学校）連携

- 暮らしの安全・安心を高める
・顔の見える地域づくり
・富士学校や他の自治体等との協力による災害対応・救急医療の体制構築
・備蓄など災害への備え
・生活必需品全般をストックできるスーパー等の誘致

- 世界遺産のまち須走をアピール
・須走口富士登山の再興
・国道 138 号 IC 周辺玄関口機能の充実
・本通りの散策機能強化
・道の駅、浅間神社、本通りの回遊性強化

- 須走の資源の磨き上げ
・立山、豊富な水等自然や歴史資源の活用
・公園等の有効活用

- 新たな観光交流資源の創出
・新たなイベントの創出
・市民活動や起業等チャレンジ活動への支援

- 広域圏での存在感向上
・ぐるり富士山風景街道など広域連携事業への参画
・富士学校等での既存広域集客イベントの活用

- 広域交通網整備に併せた集客・誘導
・道の駅すばしりの活用
・新東名高速道路御殿場 IC、(仮) 小山スマート IC、及び R138 号からの誘導機能充実

- 情報発信力の向上
・マスコミのフル活用
・ホームページ、SNS による情報発信強化
・富士学校関係者への継続的な情報提供、口コミ活用

- 域内経済循環の構築
・イベントなどの機会損失を減らす連携体制
・新規開業者の誘致
・地製、地消商品の開発

- 住機能と観光機能の調和
・ゾーニングに基づく計画的土地区画整理事業
・生活拠点エリアの計画的な形成

- 緊急時対応体制の充実
・災害初動時の適切な判断
・情報提供、避難誘導が可能な体制
・富士山噴火時の緊急避難体制の整備（ヘリ避難、シェルター整備等）
・ボランティアの受入体制整備

- まちづくり推進協議会の効果的な運営
・須走地域内の地域活動団体間の連携体制構築、強化
・総合計画の進行管理
・まちづくり事業の優先順位づけ、戦略的展開に向けた企画、調整

- 地域内の合意形成能力の向上
・まちづくり情報の共有
・まちづくりリテラシーの育成
・住民のニーズ、ウォンツの把握



目標との関連：赤枠は主たる関連　緑枠は従たる関連

再構 まちのコアづくり～須走といえばここ～

① 須走の顔づくり

目標との関連：す・■・■・■・■

富士浅間神社と本通りを“まちの顔”として魅力を高めると共に、雪害対策等防災機能を強化する。また、須走ならではの富士山や風景のピューポイントを発掘、発信し、須走の魅力をアピールしていく。

国道 138 号バイパス整備に併せて、IC 周辺を須走の玄関口とし修景していくと共に、須走地域への円滑な誘導を図る。

② 子育ち・暮らしの便利コアの形成

目標との関連：す・■・■・し・き

検診、予防接種等、地域で安心して医療・健康サービスが受けられる環境や、親子カフェ等、気軽に立ち寄れる子育て交流拠点の設置等、地域ぐるみで子供たちを応援する体制を強化する。

また、買い物等の生活基盤となる施設が集積する拠点を形成し、機能を充実していく。買い物、飲食、健康・医療の利便性を向上させることで“住みたい”“住み続けたい”気持ちを育む。

再考?防災・減災～正しく恐れて着実な備え～

① 顔の見える地域づくり

目標との関連：す・■・■・し・き

緊急時の互助、共助の基盤となる“顔の見える地域づくり”を進めること。

② 災害時の富士学校や他の自治体等との連携体制強化

目標との関連：す・■・■・ら・し・き

③ 防災備蓄の充実

目標との関連：す・■・■・ら・し・き

自助の備えとして、家庭や事業所での備蓄を徹底する。
また、共助の備えとして地域での備蓄を充実する。

④ 災害を学ぶ機会の創出

目標との関連：す・■・■・ら・し・き

体験したことのない噴火や、スーパー台風など激甚化する災害などについて学ぶ機会を設ける。

⑤ 防災基盤の充実・強化

目標との関連：す・■・■・ら・し・き

道路の雪害対策の強化・資機材の充実、噴火避難シェルターの整備、住宅などの耐震化の促進等を図る。

最高！須走暮らし

～富士山の恵み満喫～

① 住む人プロジェクト

目標との関連：す・■・■・し・■

富士山にいたかれながら暮らすことの魅力や、厳しい自然との付き合い方等を実感できる機会を増やすことで、須走ならではの暮らしの醍醐味を実感できる機会を増やす。転入してきた家族が富士山に親しみ、地域に役立つ体験をすることで地域への愛着を深めるイベントを実施する。

② 縁の人プロジェクト

目標との関連：す・■・■・ら・し・き

富士学校関係者等、須走に住んだことがある人たち、特に子供たちにとって、須走が第二の故郷となり、須走との交流を継続できる関係づくりを行なう。

さあいこう ひたすら情報発信

～広がれ、はばたけ、須走情報～

① まちの情報拠点の整備

目標との関連：す・■・■・■・き

須走地域の見るべき（見せたい）場所を効果的に伝え、須走ならではの交流やふれあいを通じた情報発信を行う拠点づくりを行う。この拠点を緊急時の観光客や住民への情報拠点としての活用を図る。

② 地域情報誌の発行、マップの整備

目標との関連：す・■・■・■・し・き

須走地域について須走地域について、子育て支援、防災情報をはじめ多面的、横断的な情報を集積した情報誌やマップを発行する。また、ロゴなどを制作し、地域 CI を進める。

③ I C T の活用

目標との関連：す・■・■・■・■

SNS等の活用により、地域ポータルサイトを開設し、観光情報等外への発信を活発化する。加えて、子育て情報等の地域内の情報交流や災害など緊急時の連絡網な多面的な活用を図る。

④ 須走大使など、地域サポートアーカイブ

目標との関連：す・■・■・ら・し・き

須走の魅力を口コミなどで発信し、須走をサポートする人のネットワークを構築する。

再興 須走ロード～須走口登山 ここが魅力～

① 五合目までの登山道：活用しながら整備

目標との関連：す・■・■・し・き

一部荒廃した状態になっている、五合目までの登山道を観光客や住民が参加体験するプログラムを実施しながら、四季を通して利用できる登山道として整備する。

また、星の名所であることなど、特色を活かしたイベントを実施する。

② オリジナル須走登山ツアーやの促進

目標との関連：す・■・■・し・き

富士山の保全や伝統的な登山の作法などの学習体験を取り入れた、住民参加型のオリジナル登山ツアーや企画し、商品造成につなげる。

③ 富士山関連の催事・イベント充実

目標との関連：す・■・■・■・■

開山式や富士山の日等におけるイベントを住民と観光客との交流や、住民が富士山の恵みを実感し、次世代へと継承する意識を高める機会とする。

みなさんのご意見伺いました

須走 DE サロン

「子育て」

テーマ「須走で日本一楽しく子育てを」

日時／平成 26 年 9 月 9 日(水)午前 10 時～11 時 30 分

平成 26 年 9 月 14 日(月)午前 10 時～11 時 30 分



サロンで“いいね”の評価が高かった意見と検討会での方針検討

①須走で検診と予防接種をしてほしい

- ・ほとんどの検診や予防接種が健康福祉会館でしかできない状況。町の端から端に移動しなければならない。
- ・須走地区は転入して日が浅い子育て世代が多くいて、道も不案内という事情もあり、困っている人が多い。
- ・須走まちづくり協議会として、今回の計画の中に「須走地区での検診と予防接種の実施」を明示して表現した方が良い。



②親子で気軽に過ごせる拠点の設置

- ・すぐに、できそうなことである。進めると良い。防災センターは幼稚園にも近く、普段は空いているので、有効活用を図る面でも、防災センターでやってみると良い。家族で、須走に来てよかったと思える体験ができる場所や機会を望みたい。



③子育てハンドブックの作成・配布

- ・転入してきた手続きする際に、支所などで配布されるようになると良い。

④買い物物環境の改善

- ・昨年度の検討会での議論でも出されていた意見であり、計画の中に位置づけするべき。

⑤イベント

- ・住民が、富士浅間神社や富士山と触れ合ふ体験が少なくなっている。
- ・子供たちだけなく「親子で富士山に親しみ、地域に役立つ体験をすること」を明示する。

多世代交流拠点事業

「不二山カフェ」

「子育て」をテーマとした須走DEサロンの提案により、多世代交流拠点づくりの実験事業として「不二山カフェ」を開設しました。

◆開催期間／平成 26 年 11 月 19 日～平成 27 年度 2 月 27 日
40 日間 9:00～13:00

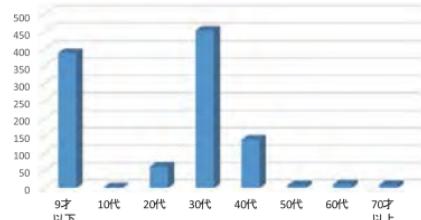
◆開催場所／須走防災センター 2 階

◆延べ参加者／1,073 人



NO.	実施日	開催内容	講 師	参加者数
1	11月21日	ベビーマッサージ体験	筒井佳代子	親子7組14人
2	11月26日	音楽大活動紹介	富士ハーネス指導員	8人
3	12月12日	富士浅間神社紹介と参拝方法体験	富士浅間神社神職	15人
4	12月13日	おさがり会		多数
5	12月15日	幼児英語体験（0-2歳の英語教室）	ハーティガン・マイケル	親子11組22人
6	12月17日	フリーマーケット	住民による自主企画	多数
7	12月24日	幼児英語体験（3-6歳の英語教室）	ハーティガン・マイケル	10人
8	1月16日	アロママッサージ体験	金澤和子	14人
9	1月23日	桃子ふれあい遊び（バルーン）	伊藤朋子	親子14組28人
10	1月30日	音楽癒し富士 花岡清美	雪による講師都合により中止	
11	2月9日	幼児英語体験（0-3歳の英語教室）	ハーティガン・マイケル	親子9組18人
12	2月20日	アロママッサージとコンディショニング	金澤和子	19人

利用者数実績（年齢別累計）（全体合計）



須走 DE サロン

「防災」

テーマ「大雪の反省」

日時／平成 26 年 3 月 24 日(月)午後 7 時～8 時 30 分

テーマ 日本一安全に暮らせる須走にするためのアイデアを出そう

日時／平成 26 年 12 月 10 日(水)午後 7 時～8 時 30 分

参加者は「台風」「地震」「噴火」「大雪」の災害の場合について、4 グループに分かれ、アイデアを出し合いました。

■意見のまとめ

“いいね”的評価が多かったもの		主な意見
台 風	<ul style="list-style-type: none"> ●土砂災害防止の為、側溝の増設、拡幅等の充実 ●避難行動のための準備を実施 ●災害防止と予防 	<ul style="list-style-type: none"> ●危険箇所の確認（山、崖、建物等）と対応。 ●災害時の避難、特に初動時の判断と情報連絡、適切な避難誘導
地 震	<ul style="list-style-type: none"> ●断層を調べる ●各箇所の耐震補強をする ●防災無線と緊急地震速報を連動 	<ul style="list-style-type: none"> ●自助の準備の徹底 ●発生時の安否の確認を行える体制
噴 火	<ul style="list-style-type: none"> ●遠方でたよれるひなん所を確保する ●ヘリコプター等 ●超巨大シェルター 	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急時の身の安全を確保し避難する手段を準備する取組 ●噴火について、住民自身が良く知るために、学べる機会を設ける
大 雪	<ul style="list-style-type: none"> ●各道路・歩道などの消雪パイプの設置 ●有線放送・メールなどでの初期情報発信 ●スタッフレスティアの購入補助制度 	<ul style="list-style-type: none"> ●個人、地区、行政それぞれが役割分担しながらの除雪と雪捨て場の準備 ●初期の情報提供 ●現状把握ができる体制 地域の資源（人・組織・資材・通信施設等）、災害弱者等 ●地域全体での生活必需品の備蓄の充実
共 通	<ul style="list-style-type: none"> ●色々な災害に応じて、発生時における広域での防災応援体制の構築ができるよう準備が必要。特に、「噴火」への対応において重要 ●適切な初動や避難誘導のための、多様な手段での情報提供体制の構築が必要 ●道路、水路、崖の擁壁等、基盤施設の防災機能強化が必要 	



「須走地区文化祭」でのアンケート結果

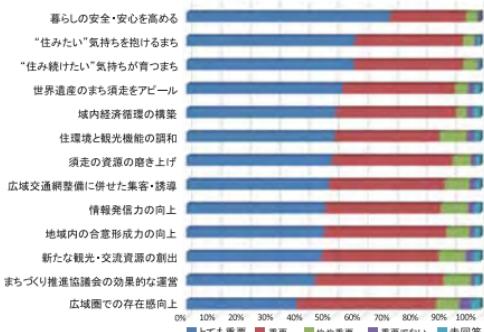
11月1日、2日に須走地区文化祭連動事業として

“須走地域金太郎計画 2020” 素案等を掲示し、住民の皆様から意見を伺うアンケートを実施しました。

226名の方に回答をいただきました。



「文化祭」でのアンケート結果



小山町のその他の計画

この3月「小山町観光振興計画（2015～2020）」が、策定されました。

須走地域に関連する施策も数多く計画されています。注目していきましょう

3つのプロジェクト

		施 策
富士山 交流観光 プロジェクト	施策 1	須走口 5合目を再整備します
	施策 2	登山者などへの対応を充実します
	施策 3	須走口 5合目散策コース・富士山トレイルを活用します
	施策 4	富士山の眺望スポットを整備します
	施策 5	富士浅間神社の魅力を高めます
元気 にぎわい観光 プロジェクト	施策 6	富士山の環境保全を観光振興につなげます
	施策 7	美化活動を奨めます
	施策 1	金太郎をシンボルとした観光活性を図ります
	施策 2	スポーツによる誘客を進めます
	施策 3	農のある暮らしをにぎわいに活かします
	施策 4	自転車による観光振興を進めます
	施策 5	自衛隊との連携による観光振興を進めます
	施策 6	観光拠点を活用します
	施策 7	新たな観光スポットを整備します
観光 インフラ整備 プロジェクト	施策 8	ハイキングコースを活用します
	施策 9	ロケ地としての強みを活かし知名度を高めます
	施策 1	シティプロモーションの充実を図ります
	施策 2	おもてなし人財による着地型観光を充実します
	施策 3	インバウンドの対応を強化します
	施策 4	観光情報の基盤を整えます
	施策 5	観光交通基盤を整備活用します
施策 6	広域連携を推進します	
施策 7	小山町ブランドの充実を図ります	

詳しくはこちら ⇒ http://www.fuji-oyama.jp/public_kankosikokeikaku.html

「す・ば・ら・し・き須走」魅力紹介

富士山についてもっと知ることで、世界文化遺産がある地に住むことを楽しみましょう

富士山の世界文化遺産登録名称は「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」

富士山という自然の営みに宗教性、芸術性を見出してきた日本人の自然観や文化観が国際的に認められ、2013年6月、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の「世界遺産委員会」で登録が決定しました。

世界遺産とは、地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと引き継がれてきたかけがえのない宝物です。現在を生きる世界中の人がとが過去から引継ぎ、未来へと伝えていかなければならぬ人類共通の遺産です。

須走地域にある
構成資産

富士浅間神社

須走口登山道の起点となる神社で、富士講信者が多く立ち寄り、33回を一つの区切りとする登拝回数等の記念碑が約70基残されています。社伝によれば、807年に造営したと伝えられます。



須走口登山道

富士浅間神社を起点とし、八合目で吉田口登山道と合流し山頂東部に至る登山道です。登山道は遅くとも17世紀までに、富士浅間神社及びその所在地の須走村が登山道の山頂部までを支配し、散銭取得権の一部などを得ていました。



須走まちづくり推進協議会

小山町役場須走支所 小山町須走 267-6

電話 0550-75-2211 FAX 0550-75-4107